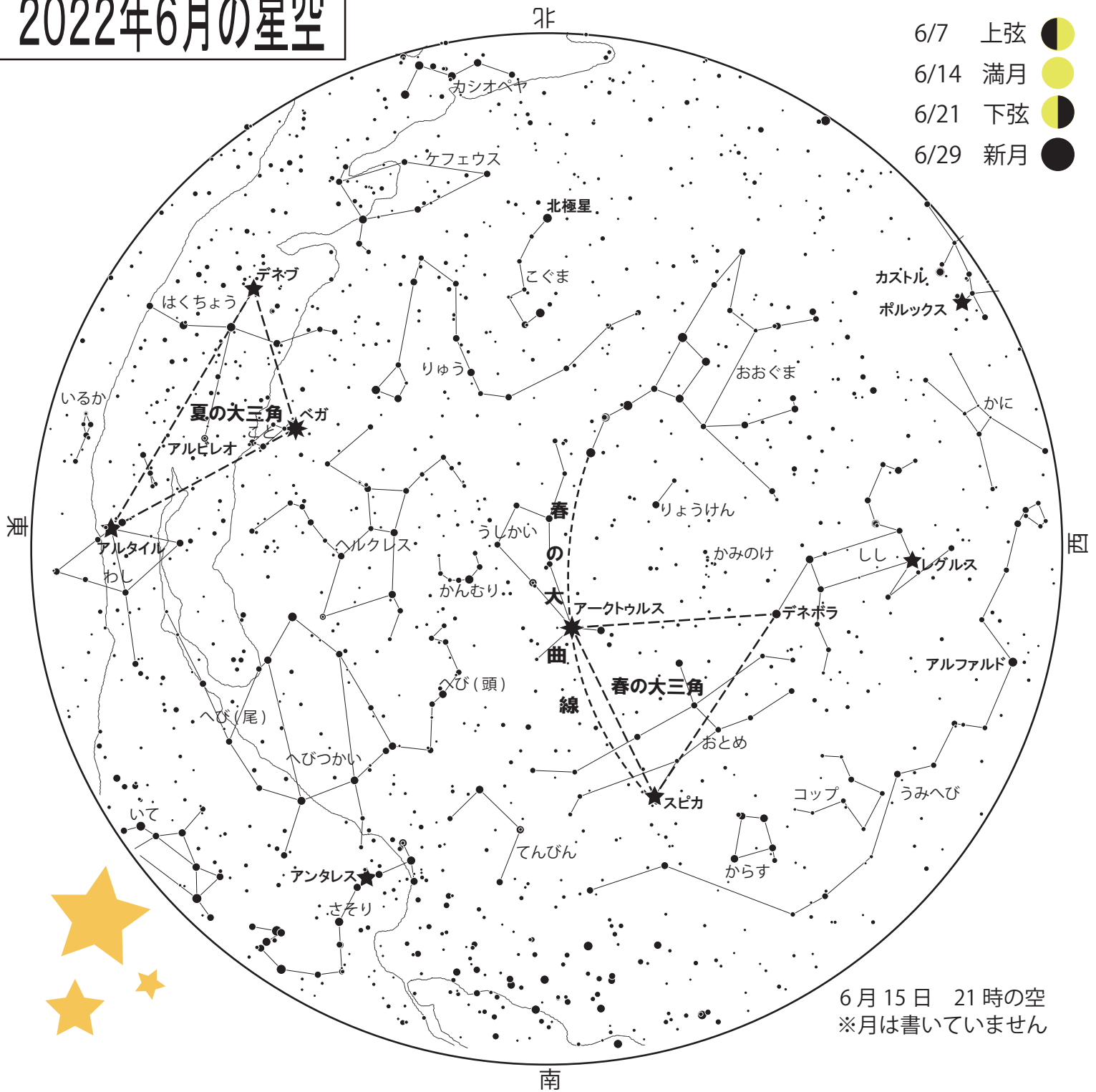


姫路で見る 2022年6月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。



西の空に春の星座たち、東の空に夏の星座たちが見えるようになってきました。北西の空には、ひしゃくの形をした**北斗七星**が見えます。ひしゃくの持ち手の部分からカーブをするように南へと伸ばしていくと、うしかい座の**アークトゥルス**、おとめ座の**スピカ**が見つかります。このカーブのことを「**春の大曲線**」と呼びます。また、アークトゥルスとスピカ、しし座のしっぽにある**デネボラ**を結べば「**春の大三角**」になります。富山県ではアークトゥルスを「あんさまぼし」、スピカ「あねさまぼし」と呼んでいたとのこと。男女ペアの星に見えていたのかもしれない。

夏の星座たちの中にも男女ペアの星があります。東の空にひときわ明るく輝く、こと座の**ベガ**が七夕の物語に出てくる織姫星、わし座の**アルタイル**が彦星です。この2つの星と、はくちょう座の**デネブ**を結べば「**夏の大三角**」ができあがります。

梅雨の時期ですが、晴れ間を見つけてぜひ星空を眺めてみて下さい。